

平成22年度(財)山形コンベンションビューロー事業計画

□ 事業方針

昨年は、4千名規模の建築士会全国大会や地域の特性をいかした全国えだまめサミットなどの様々なコンベンションが開催され国内外の参加者による情報交換や交流が7市7町(山形広域圏)で行われました。平成22年度は、日本肝臓学会やリハビリテーション・ケア合同研究大会などの大型コンベンションや、海外から200名を超える研究者の参加が予定されている国際計算機情報科学学会の開催が決まっており、山形広域圏の交流人口の増加や経済効果が期待されます。これらコンベンションの主催者を積極的にサポートし、参加者に対しては山形の良さを大いにアピールしてまいります。

また、山形国際交流プラザ(プラザ)の管理運営については、プラザの指定管理者として利用者の声に耳を傾けサービスの向上を図り、安全と安心に努めてまいります。

そして、このコンベンション事業とプラザ管理運営事業を当財団の両輪として、「コンベンションランド山形」の創造を目指してまいります。

□ 重点事業

次の4項目を重点事業として取り組んでまいります。

1. 誘致事業の継続実施

山形大学や地元各種団体への訪問活動をはじめ首都圏のキーマンに対しても継続して誘致活動を行います。

2. 経済波及効果の測定・分析

コンベンション開催のデータを基に経済波及効果の測定・分析を行います。

3. 賛助会員等を対象とした研修会の実施

他県コンベンション施設の視察研修を行います。

4. プラザ利用促進事業の継続

利用者との情報交換会の開催やセールス活動により利用者の拡大に努めます。

□ 項目別事業計画

I コンベンション事業

1. 誘致支援事業

行政、関係機関・団体と連携し、コンベンションの主催団体等に対して積極的に開催をはたらきかけるとともに、主催者及び参加者の立場に立った支援体制の充実に努める。

(1) 誘致事業

- ① 地元大学、各種団体、自治体等への訪問活動を中心とした誘致活動
- ② 首都圏、仙台圏のコンベンション主催団体への誘致活動
- ③ コンベンション関連業界との連携による誘致活動
- ④ 大学関係者との情報交換会の開催
- ⑤ 誘致活動に活用する山形コンベンションガイド等の整備

(2) 支援事業

- ① コンベンション開催用貸切バス支援の実施
- ② コンベンション開催助成金交付制度の有効活用
- ③ 山形駅、山形空港等への歓迎看板の掲示
- ④ 観光パンフレット、コンgresバッグ、ネームホルダー等の提供
- ⑤ 主な公的施設との情報交換によるコンベンション開催環境の向上

2. 広報宣伝事業

国際ミーティング・エキスポへの出展及び地元主催者に向けたビューローの活動の周知並びに開催コンベンションの広報を行う。

(1) 国際ミーティング・エキスポへの出展

国土交通省・国際観光振興機構（JNTO）・日本コンgresコンベンションビューロー（JCCB）主催による「国際ミーティング・エキスポ」へ出展し、首都圏のコンベンション主催者に対し山形広域圏を広報する。

(2) ビューローの事業活動の広報

- ① 地元紙・ラジオ等を活用した事業活動の広報
- ② 山形仙台線のバスを利用したビューロー活動の広報
- ③ 山形空港内電飾看板の掲示
- ④ 山形新幹線改札口付近への電飾看板の掲示

(3) 山形コンベンションガイド（CD版）の改訂及び配布

山形広域圏のアクセス、施設、観光等を紹介するコンパクトディスクを主催者等へ配布・広報する。

(4) JR山形駅自由通路ショーケース活用による広報

コンベンション主催者へ告知スペースを提供し市民公開講座などを紹介するとともに、コンベンションカレンダーにより開催予定を周知する。

3. 調査企画開発事業

アンケート調査を基に、コンベンション開催によってもたらされる経済効果の測定・分析を行う。また、コンベンションの動向などについては各行政やJNTOと連携し調査を行う。

(1) コンベンション開催による経済波及効果の測定・分析

22年度に開催されるコンベンションの中から10件程度のコンベンション主催者及び参加者にアンケート調査をおこない、そのデータを基に経済効果の測定・分析を行う。

(2) コンベンション動向等に関する調査

- ① 山形広域圏担当課長で構成するコンベンションネットワーク会議の開催
- ② JNTOとの連携

4. 情報収集提供事業

山形広域圏におけるコンベンションの開催情報を収集し、広く情報の提供を行う。また山形広域圏の観光などについても引き続き情報発信の場を確保する。

(1) コンベンション開催情報の収集と提供

- ① コンベンション開催情報の収集と開催意向の調査
- ② ホームページによる迅速な情報提供

(2) 機関紙「ルネッサンス」の発行（年2回）

(3) プラザ内山形広域圏観光物産展示コーナーの常設展示

(4) コンベンション地図の更新

(5) 賛助会員情報の提供

プラザ内に賛助会員専用の広告スペースを設け会員メリットを向上させる。

(6) 各種会議等への参加

JNTO、JCCB及び東北地区コンベンション推進協議会等が主催する各種会議へ参加し情報収集に努める。

5. 人材育成啓発事業

関係団体の各種セミナーに参加し職員の研修を行う。また賛助会員等を対象とした研修会を実施し会員の育成にも努める。

(1) JNTO及び地元関係団体主催セミナーへの参加

(2) 他県コンベンション施設の視察研修を賛助会員等を対象に実施

II 山形国際交流プラザ管理運営事業

1. 施設管理運営事業

これまで構築してきた管理運営のノウハウや、利用者からの要望等を施設管理運営に反映させ、ハード、ソフトの両面から積極的にサービスの提供を行う。

(1) 利用者への満足感の提供及びサービスの向上

- ① 周辺マップの作成及び配布
- ② プラザバス停への案内図の表示

- ③ 施設空き情報の公開
- ④ 最寄り駅周辺からの誘導案内表示
- ⑤ コピー機設置によるコピー・FAXサービスの実施

(2) 安全安心の確保

- ① 危機対応マニュアルの改訂と整備
- ② AED（自動体外式除細動器）の継続設置
- ③ 防火対象物点検報告特例認定の申請

(3) 全国展示場連絡協議会等への参加

2. 施設利用促進事業

施設利用者との情報交換会やモニタリングの実施により、利用者の要望事項等へ迅速に対応する。また継続したセールス活動によりプラザ利用の拡大に努める。

(1) 利用促進会議の開催

主催者から利用時の要望や意見等をいただき、サービス向上に努め利用の拡大を図る。

(2) 山形の地場産業紹介コーナーの設置

プラザ内にある展示コーナーを利用して地場産業の紹介を行う。

(3) モニタリングの実施

施設を利用された主催者及び来館者を対象としてアンケート調査を実施し、意見・要望を施設管理に反映させていく。

(4) セールス活動の実施

定期利用者の顧客化及び新規利用者の拡大に努める。